| 科目ナンバリング | U-LAS03 10002 SB48 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 外国文献研究（文・英）A-E1<br>Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1 | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 文学研究科　教授　　横地　優子 | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 外国文献研究 | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 火4 | 配当学年 | ２回生以上 | 対象学生 | 文系向 |

**[授業の概要・目的]**

本授業では、Elephants and Kings: An Environmental Historyという研究書の講読を通して、南アジアを中心に象が歴史的に人間の文化、特に軍の一部として、また王権の象徴として、どのような役割を果たしていたかを学んでいく。その際、まず学術的な英語に親しむと同時に、英訳を通してではあるが、原典やその注釈などの一次資料を使った研究方法を学ぶことを目的とする。さらに、履修者各自が専門とする（予定の）文化において、概念ではなく具体的なものや環境を通して文化的歴史を探求するという方法論を学ぶ契機としてほしい。

**[到達目標]**

学術的な英語表現に慣れるとともに、英訳を通して一次文献資料の扱い方を学ぶ。

**[授業計画と内容]**

第1回 イントロダクション：教科書とするElephants and Kingsの内容を概観し、今後の授業の進め方を説明する。
第2回～第14回 まず第２部（象とインドの王権）に含まれる第2章 War Elephantsを講読し、時間があれば同じ第２部から第3章または第4章を講読する。隔週程度に、次の講読範囲の中から１０行程度を選んであらかじめオンライン(PandA)で和訳を提出することを課す。授業中には、提出された和訳を集めた和訳集に講評を加えながら、当該範囲の講読を行う。
定期試験
第15回　フィードバック

**[履修要件]**

自分が専門にしようとする学問領域について、ある程度具体的なイメージと意欲を持っていることが望まれるので、２回生以上を履修の条件とします。

**[成績評価の方法・観点]**

平常点（和訳課題：70%)、定期試験(30%)を総合して評価する。

**[教科書]**

Thomas R. Trautmann 『Elephants and Kings: An Environmental History』（The University of Chicago Press, 2015）ISBN:978-0-226-26436-3（授業中に講読する部分については、随時コピーを授業資料としてPandAにアップロードする。）

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

外国文献研究（文・英）A-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回、授業で講読する範囲については、予習をして一通り目を通しておくこと。また、和訳の課題提出は必須。

[その他（オフィスアワー等）]

履修定員を４５名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

１．文学部の４回生（所属系は問わない。）
２．文学部東洋文化学系の２・３回生
３．上記系以外の文学部２・３回生
４．文学部以外の学生